

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 丹治 拓未 (TEL) 0467-61-3399
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	4,667	19.4	249	53.9	188	△15.3	413	196.5
2024年12月期第1四半期	3,910	△7.3	162	△56.9	222	△46.0	139	△46.9

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 391百万円(164.4%) 2024年12月期第1四半期 147百万円(△44.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	25.64	—
2024年12月期第1四半期	8.65	8.62

(注) 2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	12,594	6,356	46.6
2024年12月期	12,875	6,027	42.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 5,863百万円 2024年12月期 5,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,500	10.6	555	55.0	450	12.0	250	67.7
								15.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 —社（社名）— 、除外 1社（社名）（株）eSP
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	16, 108, 800株	2024年12月期	16, 108, 800株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	266株	2024年12月期	266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	16, 108, 534株	2024年12月期 1 Q	16, 108, 613株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、米国の通商政策などに起因する先行き不透明感が残り、消費者マインドには弱さが見られるものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調を示しております。内閣府は2025年4月の月例経済報告において、景気の先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるとしております。一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっていることに加え、物価上昇の継続が消費者マインドの低下を通じて個人消費に与える影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっていると指摘しております。また、金融資本市場の変動等の影響にも注意が必要であるとしております。

当社グループを取り巻く事業環境としましては、当社が注力するインターネット広告市場の2024年の市場規模は前年比9.6%増の3兆6,517億円となり、総広告費に占める構成比は5割に迫る47.6%となっております(出所:電通「2024 日本の広告費」)。また、国内eスポーツ市場規模は2023年に前年比17.1%増の146.8億円となり、2024年は172.6億円、2025年は199.8億円と高い成長率で拡大する見込みです(出所:一般社団法人日本eスポーツ連合「日本eスポーツ白書2024」)。

このような事業環境の中で、当社グループはよりデジタル領域を中心により多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なコンテンツを提供し続けております。その中でも、ゲームエンタメ、面白プロデュース、eスポーツ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSプライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,667,758千円(前年同期比19.4%増)、営業利益は249,614千円(前年同期比53.9%増)、経常利益は188,717千円(前年同期比15.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は413,070千円(前年同期比196.5%増)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントであります、サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① ゲームエンタメ

カジュアルゲーム領域、(株)カヤックアキバスタジオ及び(株)カヤックボンドでのゲームを中心とした受託開発が売上高の大部分を占めております。カジュアルゲームの中でもハイパーカジュアルゲームにつきましては、当第1四半期連結会計期間に新作タイトル「Ragdoll Shooting」「Shuriken Cut」を正式にリリースしました。新作タイトルを2本リリースしたこと等により、ダウンロード数は直前四半期比では9.7%増の約9,313万件と過去最高になりました。この結果、ゲームエンタメ関連の売上高は2,509,121千円(前年同期比14.0%増)となりました。

② 面白プロデュース

既存概念をぶち壊すアイデア力と先端テクノロジーに精通した開発実装力によって、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験価値を生み出し、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告コンテンツを提供しております。近年の傾向として、デジタルとリアルの境目、広告とサービスの境目が曖昧になる中で、既存のデジタル広告領域にとどまらない多様な案件が増加しており、特に当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する高付加価値な領域にも進出しております。この結果、面白プロデュース関連の売上高は496,447千円(前年同期比8.1%増)となりました。

③ eスポーツ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しております。GLOE(株)のeスポーツ事業並びにトーナメントプラットフォームの「Toname1」が売上高の大部分を占めております。当第1四半期連結会計期間におけるToname1の大会開催数は、コミュニティに寄り添った運営によりTCG(トレーディングカードゲーム)を中心に大会数が増加した結果、直前四半期比6.5%増の17,712件となりました。一方、GLOE(株)では、当第1四半期連結累計期間の売上高が直前四半期比で減少しておりますが、下期偏重の事業のため想定内の進捗となっております。この結果、eスポーツ関連の売上高は681,504千円(前年同期比0.4%減)となりました。

④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「スマウト」、コミュニティ通貨サービスの「まちのコイン」、地域プロモーションや地域開発の受託などのサービスが売上高の大部分を占めております。当第1四半期連結会計期間末時点で、「スマウト」の累計登録ユーザー数は直前四半期末比6.5%増の約6.9万人となり、順調に拡大しております。「スマウト」の導入地域数も当第1四半期連結会計期間末時点で直前四半期末比1.1%増の1,120地域となり、市場の上限である自治体数約

1,700地域に対しての導入率が65.9%となりました。また、当第1四半期連結会計期間末時点での「まちのコイン」の累計登録ユーザー数は、直前四半期末比7.7%増の18.2万人と、こちらも順調に増加しております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は566,289千円（前年同期比78.0%増）となりました。

⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、コロナ禍により業績が悪化した後、継続的な回復基調にあります。また前連結会計年度に当社子会社となった英治出版㈱の新刊が好調に推移しております。その結果、その他サービス関連の売上高は414,395千円（前年同期比67.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ280,719千円減少し、12,594,499千円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上等による現金及び預金の増加467,321千円、売掛金及び契約資産の減少257,397千円及びのれんの減少351,754千円であります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ609,619千円減少し、6,238,130千円となりました。主な要因は、未払金の減少104,642千円、預り金の減少101,865千円及び長期借入金の減少246,034千円であります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ328,900千円増加し、6,356,369千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加350,247千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2025年2月13日公表の「2024年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,780,097	5,247,419
売上債権及び契約資産	3,282,682	3,025,285
営業投資有価証券	179,672	258,572
仕掛品	156,479	59,875
その他	566,865	444,498
貸倒引当金	△16,047	△15,432
流動資産合計	8,949,749	9,020,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	809,106	792,664
工具、器具及び備品（純額）	72,593	58,442
土地	626,311	636,311
その他（純額）	79,256	91,771
有形固定資産合計	1,587,267	1,579,189
無形固定資産		
のれん	884,874	533,119
その他	371,475	375,996
無形固定資産合計	1,256,349	909,116
投資その他の資産		
投資有価証券	638,757	599,662
繰延税金資産	156,986	220,944
その他	340,893	314,123
貸倒引当金	△54,786	△48,754
投資その他の資産合計	1,081,851	1,085,974
固定資産合計	3,925,469	3,574,280
資産合計	12,875,219	12,594,499
負債の部		
流動負債		
買掛金	676,964	654,152
短期借入金	450,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	826,085	824,885
未払金	900,144	795,502
未払費用	354,144	268,381
未払法人税等	77,559	50,448
契約負債	162,964	114,751
預り金	1,175,921	1,074,055
その他	148,624	150,641
流動負債合計	4,772,408	4,412,818
固定負債		
長期借入金	1,991,975	1,745,941
その他	83,366	79,370
固定負債合計	2,075,341	1,825,312
負債合計	6,847,750	6,238,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,238	900,238
資本剰余金	1,144,758	1,144,185
利益剰余金	3,471,632	3,821,879
自己株式	△281	△281
株主資本合計	5,516,347	5,866,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,848	△2,679
その他の包括利益累計額合計	2,848	△2,679
新株予約権	40,113	40,115
非支配株主持分	468,158	452,910
純資産合計	6,027,468	6,356,369
負債純資産合計	12,875,219	12,594,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,910,197	4,667,758
売上原価	1,843,389	2,033,479
売上総利益	2,066,807	2,634,278
販売費及び一般管理費	1,904,600	2,384,663
営業利益	162,206	249,614
営業外収益		
受取利息	119	1,642
受取配当金	1,302	883
助成金収入	839	—
為替差益	66,368	—
その他	3,893	4,483
営業外収益合計	72,522	7,009
営業外費用		
支払利息	2,044	5,997
持分法による投資損失	708	39,506
為替差損	—	22,315
固定資産除却損	8,857	—
その他	265	86
営業外費用合計	11,874	67,906
経常利益	222,854	188,717
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44,998
関係会社株式売却益	—	235,622
事業譲渡益	—	5,345
特別利益合計	—	285,966
税金等調整前四半期純利益	222,854	474,683
法人税、住民税及び事業税	86,366	142,203
法人税等調整額	△329	△64,907
法人税等合計	86,037	77,295
四半期純利益	136,817	397,387
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,517	△15,682
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,335	413,070

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	136,817	397,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,152	△6,166
その他の包括利益合計	11,152	△6,166
四半期包括利益	147,969	391,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,847	407,542
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,878	△16,320

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	46,144千円	52,286千円
のれん償却額	35,906千円	45,861千円